

## 待ちに待ったマイ足袋が完成

3月14日、中央小学校で「マイ足袋受け渡し式」が行われました。

行田の足袋の歴史を学ぶ授業の一環として昨年9月に市内の小学3年生が絵柄を描いた足袋が、ついに完成。縫製を行った市内足袋業者から出来上がったばかりのマイ足袋を受け取った子供たちは、早速履いて世界に一つしかない足袋の感触を、うれしそうに確かめていました。



## 地産地消の新たなビールが誕生

3月2日、商工センターで特定非営利活動法人行田観光物産会が企画し、誕生した地ビール「麦乃王」の発表・試飲会が開催され、関係者約60人が集まりました。

このビールの主原料となっている二条大麦は県内最大の生産量を誇る本市内で生産されたもの。試飲した関係者からは「香りが良い」「おいしい」などととても好評でした。このビールは既に市内一部の飲食店や酒屋で取り扱いが始まっており、地産地消の新たな味として広がりが期待されます。

## いつまでも地域で暮らすために

3月8日、教育文化センターみらいで行田市在宅医療・介護連携推進協議会による第5回在宅医療・介護連携推進に係る多職種合同意見交換会「地域包括ケアシステム～医療職・介護職が力を合わせる在宅ケア～」が開催されました。

この催しには市内外から医療・介護に携わる専門職など約400人の関係者が集まりました。千葉県松戸市で在宅医療を積極的に行っている医師の川越正平さんが、医療に「生活の視点」を取り戻す在宅医療や介護との連携について講演。参加者にとって、住み慣れた地域での生活を支えていく方策を共に考える良い機会となったようです。



## 美しいハーモニーを響かせて

3月3日、第22回行田市民館ふれあいコーラス発表会が「みらい」文化ホールで開催されました。

発表会には、各公民館で活動しているコーラスグループ16団体が参加。グループでおそろいの衣装を身に付け舞台上上がった参加者は、「いつでも夢を」「みかんの花咲く丘」などさまざまな曲を歌い上げ、美しいハーモニーをホールいっぱいに響かせました。心の込もった歌声に来場者からは拍手が送られていました。

## 『陸王』の著者 池井戸潤さんに感謝状を贈呈

—昨年（2017年）の小説『陸王』（集英社）の発売、そして、昨年はTBSテレビ日曜劇場においてドラマ化されたこともあり、行田市は今「陸王のまち」として全国から脚光を浴びています。

3月8日、これまでの感謝の気持ちを伝えようと、『陸王』の生みの親である作家の池井戸潤さんに感謝状を贈呈しました。また、行田だけでなく埼玉を大いに盛り上げていただいたとして、上田知事からお預かりした感謝のメッセージもあわせてお渡しいたしました。池井戸さんからは「これほど大勢の方に愛され、作者としても大変うれしい。これからもぜひ『陸王』をまちづくりに活かしてください」との言葉をいただきました。



## 弾道ミサイル発射事案を 想定した訓練を実施

3月16日、市役所で市職員を対象に、弾道ミサイル発射事案を想定した訓練を実施しました。

危機管理体制の強化を目的としたこの訓練では、午前6時30分、120人の管理職員を対象に、緊急時の参集体制を確認するため非常参集訓練を実施。また、午前9時からは、行田市国民保護対策本部設置後の情報収集・伝達体制などの初動体制を図上訓練により確認しました。

## プロから学ぶ男の料理

2月24日、VIVAぎょうだ調理室で「男の料理塾」が開催され、30歳代から70歳代の男性25人が参加しました。

講師を務めた割烹主従魚けん料理長の島村州永さんの指導の下、参加者は刺身や鯖の煮付け作り（さば）に挑戦。プロが教える魚の知識や包丁さばきに感心しながら料理を完成させ、最後はみんなでテーブルを囲みました。



## 和菓子職人の 巧みな手さばきに興味津々

2月25日、商工センターで「まちの賑わい“感謝祭”音楽と菓子の祭典」が開催されました。

クラリネット四重奏やキッズダンスなどのステージイベントの他、行田市菓子商工業組合に加盟している店舗による洋菓子・和菓子の販売やココアと甘酒の無料配布が行われました。また、和菓子づくりの実演コーナーも設けられ、来場者は目の前で繰り広げられる和菓子職人の巧みな手さばきに興味深そうに見入っていました。







### アパレル業界で培ったセンスと提案力で新たな農業に挑戦

田島 堯迪さん(小針・26歳)

現在、市内には約20件の花き農家があり、業界全体で高齢化が進む中、数少ない若手就農者として奮闘しているのが、田島堯迪さんです。



祖父の代から続く花き農家に生まれ育った田島さんは高校卒業後、アパレル(衣料)業界に就職。販売店で約5年勤め、センスと接客技術を磨き、平成28年に退社しました。当初は、何となく家業の花き農家の後継ぎとしての一歩を踏み出しましたが、商品となる花を育てていくうちに前職の経験を生かすことができると感じられるようになったといいます。「アパレルの仕事では、お客さんにコーディネートを提案することが多々ありました。その人の好みや着ていく状況などを考えて言ってもらえる提案をすることは、お客さんがどのように花を飾るのかを考えると似ています」と田島さんは話します。現在は、市内でも育てているところが少ない

黄色い巾着状の花がかわいらしいカルセオリア・ハッピーバルーン、純白の小さな花が密集したスノーパールリッサム・スノープリンセスなどを育てています。鉢物として長く楽しめる花々の栽培を目指しています。

田島さんは、見識を広げようと平成28年7月には、埼玉県農林公社による第37回埼玉県青年海外派遣研修に参加。県内の青年農業者ら10人とともに、オランダとドイツの農家などを見学しました。「私が訪れた農場は若い人が農業に携わっているところが多く、また自社の農場に販売所やカフェを併設するなどマルチな経営をしていて驚きました。生産するだけでなく直接消費者と接することで商品に安心感を持ってもらい、リピーターを生んでいました。研修で、既存のやり方にとらわれない新たな農業のあり方があることを気付かされ、アイデア次第で成長できる農業というビジネスに大きな可能性を感じました」と振り返ります。研修後、これまで以上に植物を「知る」努力をしているという田島さん。新たに液肥を導入し、植物の種類や状態によって使い分けたり配合を変えたりと、試行錯誤する日々を送っています。

今後の展望について「常に謙虚にひたむきに花づくりに取り組み、まずは現在栽培している花一つ一つの質を高めていきたい。いずれは、自分にしかできないと自信を持って世の中に送り出せるような商品を作れるようになりたいです」と語る田島さん。やる気に満ちた若き花き農家の挑戦は始まったばかりです。

### 私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

#### 俳句

- 富士見町 鈴木スイ子  
筆太の兜太の句碑や春かなし
- 谷郷 大谷 峯生  
薄氷に冒険のあり小さき靴
- 富士見町 森 節子  
巣立ちゆく部屋賑やかに雛飾り
- 谷郷 羽石 芳道  
露の薑漫ろに歩く土手の端
- 南河原 今村 文女  
夫逝きて手続き数多二月尽
- 荒木 藤田 栄之  
晩年を確と受け止め目刺焼く
- 忍 大澤 由子  
きびしさに立向かひたるしだれ梅
- 荒木 藤田 明枝  
歩かねば錆つく躰春田道
- 矢場 高田みつ子  
金目鯛煮汁も馳走春の宿
- 城南 橋本千枝子  
ときめきは余生にもあり城の春
- 須加 原 智郁子  
音もなく明けたる村の雪景色
- 城西 青木 洋子  
よちよちと歩む初孫犬ぶぐり
- 須加 天沼 広吉  
一木に遅速ありけり梅の花
- 持田 伊藤 洋子  
探梅の道に洩れ来る三昧の音
- 佐間 須永 節子  
琴の音も帯も艶やか梅まつり
- 持田 二瓶 弘子  
雛の間に正座す小さき膝がしら
- 荒木 高澤よね子  
足の癒え待つかのやうに梅咲けり
- 持田 小倉 繁三  
肩寄せて風に耐へたる黄水仙
- 西新町 青木 泰山  
梅真白反戦かかげ兜太逝く
- 谷郷 馬場 勇  
霜柱針千本のごときかな
- (三沢 一水 監修)

### 平成29年6月生まれのお子さんを募集します

○4月2日(月)～27日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)  
※応募要領は市ホームページをご覧ください。  
○応募者多数の場合は、5月2日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成29年4月生まれのおともだち ★★★



小野寺 郁ちゃん(忍)  
平成29年4月8日生まれ  
父・朋寛さん 母・薫さん  
「元気にすくすく育つてね」



長谷川 朝陽ちゃん(佐間)  
平成29年4月16日生まれ  
父・悠佑さん 母・ゆき子さん  
「毎日沢山の笑顔ありがとう」



齊藤 吏生ちゃん(持田)  
平成29年4月8日生まれ  
父・健児さん 母・博美さん  
「お友達を思いやる優しさ」



大村 歩勇斗ちゃん(天満)  
平成29年4月26日生まれ  
父・真彦さん 母・あかねさん  
「いつも笑顔いっぱい、あこがれの♡」



藤野 春社ちゃん(向町)  
平成29年4月14日生まれ  
父・智則さん 母・千花さん  
「いっぱい食べる君が好き」



滝田 莉乃ちゃん(谷郷)  
平成29年4月12日生まれ  
父・純弥さん 母・直子さん  
「たぐやん思ひ出♡♡♡♡♡」

### ぎょうだの会社を クローズアップ!!

### 株式会社とつか

#### アイデア光る「たび煎餅」が話題に



#### 会社プロフィール

代表取締役社長 戸塚 昌利  
【事業内容】米菓製造・販売  
【所在地】行田11-26

昭和4年11月の創業以来、80有余年にわたり新町商店街で店を構え続けてきた戸塚煎餅店。平成28年10月に法人化し、新たなスタートを切りました。お店には同社の代名詞である薄堅焼き煎餅「小判煎餅」を始め、常時52種類の商品が並んでいます。代表取締役社長の戸塚昌利さんは「製粉から焼き上げまで一貫した独自の伝統的手法で丁寧を作っています。国内産の上質な2種類の米をブレンドし、自社工場で作粉することで鮮度の高いまま煎餅に加工でき、米の味を最大限生かすことができるのです」と味へのこだわりについて話してくれました。また、煎餅を焼き上げる際には新潟県産備長炭を使用。生地の具合や天候によって火加減を調整しながら1枚1枚手作りで返していくことで、芯まできつね色に仕上がるそうです。

また、同社では行田在来青大豆を使った煎餅など、「行田らしさ」を意識した商品開発にも積極的に取り組んできました。そんな中で生まれたのが足袋の形をした「たび煎餅」です。名産品である足袋に着目した戸塚さんは、市内の足袋製造業者で子ども用の足袋型を見せてもらい、煎餅の金型「デザイン」に取り入れられました。妻の世知子さんとともに何度も試作を重ね、足袋のつま先や土踏まずのカーブを再現。厚さは口触りの良い薄焼きにし、6種類の味をそろえました。完成後、日本遺産認定やTBSテレビ「日曜劇場『陸王』」の放送で、「足袋のまち行田」が注目を集めるようになり、地元以外にも観光客やドラマのファンなどこれまでもあり縁のなかった人々にたび煎餅を食べてもらう機会が増えたそうです。

「多くの人に自分たちの煎餅を食べてもらい、これまで妥協せずに味を追求してきた思いが報われたように感じています。これからも新たな味や食べ歩きグルメの開発にも挑戦していきたい」と意気込む戸塚さん。まだまだアイデアが尽きないという同社の今後注目です。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。



イベント

陸王展

▼日時 4月2日(月)～5月6日(日)午前9時30分～午後4時
▼場所 商工センターホール
▼内容 TBSテレビ「日曜劇場『陸王』の劇中で実際に使用した衣装や小道具の展示
▼開催 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)

第30回春の舞踏大会

▼日時 5月27日(日)午後1時～4時30分
▼場所 「行田グリーンアリーナ」サブアリーナ
▼参加費 1千円
▼主催 行田市ソシアルダンス連盟
▼後援 行田市教育委員会、行田市体育協会
▼その他 ワンちゃんバンドによる演奏
▼開催 島崎 554-3673

第14回蔵めぐりまちあるき 蔵めぐりスタンプラリー2018

▼日時 4月21日(土)・22日(日)午前10時～午後4時(22日は午後3時まで)
※雨天決行
▼集合

講演会・教室

「共感から始まる子育て～子どもがホントに欲しいもの～」講演会

▼日時 4月21日(土)午後2時～4時(午後1時30分から受け付け)
▼場所 忍・行田公民館ホール
▼講師 親野智可等さん(教育評論家)
▼対象 子育て世代を中心とした市内在住の方
▼定員 100人
▼参加無料
▼主催 (公社)行田青年会議所
▼後援 行田市教育委員会、行田市PTA連合会
▼その他 託児あり(40人・3歳未満は要事前申し込み)
▼開催 行田青年会議所事務局 556-4115

平成30年度 家庭倫理講演会

▼日時 5月13日(日)午前10時30分～11時50分(午前10時開場)
▼場所 商工センター401研修室
▼テーマ 「ともに生きる」
▼講師 重名正恵さん(一般社団法人倫理研究所講師)
▼参加費 1千円
▼主催 一般社団法人倫理研究所
▼後援 文部科学省、行田市、行田市教育委員会
▼開催 家

場所 足袋蔵まちづくりミュージアム(行田5-15)
▼内容 市内中心部にある19棟の足袋蔵などで、作品展示・販売、演奏会、遊び体験などを同時開催する。また、ボンネットバスや人力車も登場する。
▼参加費 【大人】200円【小学生】100円※着物で参加の方は無料。さらに「MY足袋づくり体験」1千円割引をプレゼント
▼その他 足袋とくらしの博物館入館無料、藍染め体験割引の特典あり
▼主催 NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク
▼開催 同法人 552-1010

木暮照子と 木心会人形展

▼日時 4月20日(金)～22日(日)午前10時～午後5時
▼場所 足袋蔵ギャラリー門(行田7-3)
▼入場無料
▼開催 木暮 556-6657

忍町アートギャラリー

▼日時 4月17日(火)～5月17日(休)の各店舗の営業時間(メーン会場の牧嶺舎は5月11日(金)か

庭倫理の会行田市 554-9480

熊谷高校同窓会 行田支部講演会

▼日時 5月27日(日)午後4時30分
▼場所 ベルヴィアイトピア(持田2792-1)
▼講師 江利川毅さん(埼玉県立大学理事長、熊高第18回卒)
▼入場無料
▼主催 熊谷高校同窓会行田支部
▼開催 同事務局 554-0479

忠次郎蔵蕎麦打ち教室 第28期生(初級)

▼日時 5月5日(土)午後2時30分～4時
▼場所 忠次郎蔵(忍1-4-6)
▼内容 日本遺産の構成資産である忠次郎蔵で蕎麦打ちを体験する
▼定員 18人(先着順)
▼参加費 1千円
▼持ち物 三角巾、エプロン、持ち帰り用バック
▼主催 NPO法人忠次郎蔵
▼その他 希望者には引き続き中級・上級コースを用意しています。
▼開催 5月4日(金)までに電話またはホームページから同法人 556-9988(火～日曜日)の午前10時～午後3時

ら)
▼場所 中心市街地エリアにある店舗など
▼内容 地元作家のアート作品を多数展示。牧嶺舎で土・日曜日にワイクショップを開催。カフェの出店や手作り市の開催もあり。
▼入場無料
▼開催 忍町アート化戦実行委員会野本 090-7814-9615

さきたまぐらひねとあんどんぶる 第3回演奏会

▼日時 4月29日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
▼場所 「みらい」文化ホール
▼内容 クラリネット四重奏によるジャズやタンゴ、民族音楽の演奏
▼チケット取り扱い 【一般】1千500円【高校生以下】1千円※全席自由
▼後援 行田市、町・圃 秋山 080-11156-2569

春のハーバリウム体験会

▼日時 4月17日(火)・22日(日)午前10時～正午
▼場所 コミュニティセンターみずしろ大広間
▼内容 人気の植物標本インテリアを自分の好みで作る。
▼対象 小学生以上(中学生

文化庁伝統文化親子教室 (日本舞踊)

▼日時 6月9日～10月28日の土・日曜日のいずれか(月2回)午前9時～正午
▼場所 中央公民館レクリエーション室
▼内容 日本舞踊の実技
▼対象 市内在住の小学生～大学生とその保護者(子どものみ可)※未就学児は要相談
▼定員 30人(先着順)
▼費用 月額1千500円
▼開催 5月13日(日)午前10時～正午に直接同館第3会議室
▼開催 西川 556-3245

Above英会話

▼日時 5月8日～10月28日の日曜日と火曜日(月4回)【日曜日】午後7時～9時【火曜日】午後8時～9時20分
▼場所 コミュニティセンターみずしろ
▼内容 生きた英語を楽しもう
▼学費 講師 Patch(パッチ)
▼定員 12人
▼受講料 月額1千円(高校生以下は無料)
▼開催 4月1日(日)～30日(月)に電話またはEメールで Patch 080-6703-0123【Eメール】meap.

未満は保護者同伴)
▼参加費 2千円(材料費を含む)
▼開催 高島 090-2742-9274

行田街かどギャラリー 日本昔話展

▼期間 5月31日(休)まで
▼場所 カネマル酒店ショールーム(行田18-21)
▼内容 浦島太郎、桃太郎、金太郎など子供たちのヒーローを題材にした絵本や塗り絵、羽子板、人形などを展示
▼開催 栗原 090-1535-4460

問屋町祭り2018

▼日時 5月13日(日)午前10時～午後4時※雨天決行
▼場所 熊谷流通センター(熊谷市問屋町2-4-1)
▼内容 花の苗プレゼント(先着1千500人)、大福引抽選会、ラグビー体験、秩父路物産展など
▼後援 埼玉県、行田市、行田商工会議所他
▼開催 同センター 528-2150



patch-adams0608above@ezweb.ne.jp

不動岡高校市民大学

▼期日 5月～12月の主に土曜日(開講日・時間は講座ごとに異なります)
▼場所 不動岡高校
▼内容 【A講座】相続と相続の放棄について【B講座】サイエンスの世界へようこそ(20歳以上対象)【C講座】身の周りにある数学【D講座】英語でディスカッション【E講座】タグラグビー入門(小学生対象)【F講座】小学生バレーボール教室(小学生対象)【G講座】吹奏楽を奏でる(小学4年生～中学3年生対象)
▼受講料 1講座につき300円(別途教材費が掛かる講座あり)
▼開催 4月2日(月)～5月2日(休)に希望講座(複数選択可)、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記し、郵送(往復はがき)またはEメールで申し込みください。【郵送】〒347-8513 加須市不動岡1-7-45 不動岡高校市民大学事務局【Eメール】letter@fuookan.spec.ed.jp
▼開催 同事務局 0480-610140

広告

広告

バドミントン教室

▼日時 5月10日～6月14日の  
6月7日を除く毎週木曜日(全  
5回) 午前10時～正午 ▼場  
所 「行田グリーンアリーナ」メ  
インアリーナ ▼対象 初心者  
▼定員 30人 ▼参加費 1千  
円(保険料を含む) ▼持ち物  
運動のできる服装、タオル、飲  
み物、体育館シューズ※ラケット、  
シャトルは主催者が用意 ▼主  
催 行田市バドミントン連盟  
▼申・問 5月2日(水)までに同  
連盟岡田☎090-6126-  
3656(午後1時以降)

小学生バドミントン教室

▼日時 4月22日～6月24日の  
毎週日曜日(全10回) 午後1時  
30分～3時30分 ▼場所 東小  
学校体育館 ▼対象 市内の  
小学2年生～5年生 ▼定員  
20人程度(先着順) ▼参加費  
2千500円(保険料を含む)  
▼主催 行田バドミントンス  
ポーツ少年団 ▼申・問 須永  
☎554-5657(午後6時  
以降)

初心者弓道教室

▼日時 5月13日～6月17日の  
毎週日曜日(全6回) 午前9時  
～11時 ▼場所 総合公園弓道  
場 ▼対象 市内在住・在勤で  
18歳以上の方 ▼定員 10人  
(先着順) ▼参加費 3千円  
(道場使用料、保険料などを含  
む) ▼主催 行田市弓道連盟  
▼申 4月21日(土)・22日(日)午後  
1時30分から直接弓道場 ▼問  
同連盟中島☎090-1602-  
14939

子ども総合武道体験教室

▼日時 5月9日～31日の毎週  
水・木曜日【水曜日】午後5時  
～7時【木曜日】午後7時～9  
時 ▼場所 「行田グリーンア  
リーナ」柔道場 ▼内容 空手  
やキックボクシング、カンフー  
などの技を学び、心と体の成長  
を目指す ▼対象 5歳以上  
▼費用 1千500円(保険料  
を含む) ▼後援 行田市教育委  
員会 ▼その他 要予約 ▼申  
・問 総合武道教室武活道福田  
☎090-3594-9590

少林寺拳法教室

▼日時 5月12日～6月9日の  
毎週土曜日(全5回) 午後7時  
～8時15分 ▼場所 「行田グ  
リーンアリーナ」柔道場 ▼対  
象 小学生以上 ▼費用 【中  
学生以下】1千500円【高校  
生以上】2千500円(保険料  
などを含む) ▼服装 運動の  
しやすい服装 ▼持ち物 タオ  
ル ▼主催 行田市少林寺拳  
法連盟 ▼申 4月21日(土)・28  
日(日)午後7時～8時に費用を  
添えて「行田グリーンアリー  
ナ」柔道場 ▼問 同連盟島田  
☎588-4694または☎  
090-3049-4694

その他

献血

▼日時 5月14日(月)午前9時30  
分～午後4時(午前11時45分～  
午後1時を除く) ▼場所 市  
役所正面玄関前 ▼持ち物 献  
血カード(お持ちの方) ▼問  
埼玉県赤十字血液センター☎  
048-720-8009

古代蓮の里友の会  
会員募集



古代蓮の里の園内で作品の創  
作活動をする方を募集します。  
▼活動内容 ①会員作品展を開  
催(年2回) ②ミーティング

ポタリング・忍城下の  
名所を巡ろう!

▼日時 4月28日(土)～12月16日  
(日)の毎日午前9時～午後3時  
▼受付場所 行田市バスターミ  
ナル観光案内所、行田市観光案  
内所、行田グリーンアリーナ、  
古代蓮会館、はにわの館 ▼内  
容 忍城址、行田グリーンア  
リーナ、さきたま古墳公園、古  
代蓮の里をチェックポイントと  
するポタリングで巡るスタンブ  
ラリー ▼対象 小学生以上  
(小学生は保護者同伴) ▼参  
加無料 ▼その他 4カ所のス  
タンプを集めゴールした方に記  
念品あり

プチ・オケ  
ふれあいコンサート

を実施(年2回) ③園内で奉  
仕活動を実施 ▼年会費 【初  
年度】3千円【次年度以降】  
2千円 ▼特典 古代蓮会館入  
館料無料他 ▼申 古代蓮会館  
で配布する申込書に必要事項を  
記載し、年会費を添えて直接同  
館※随時受け付け

▼日時 5月12日(土)午後2時開  
演(午後1時30分開場) ▼場  
所 産業文化会館ホール ▼内  
容 12人の小さなオーケストラ  
によるクラシック名曲集の演奏  
▼曲目 「運命」、「水上の音楽」  
「ハンガリー舞曲」、「フィガロ  
の結婚」、「美しく青きドナウ」  
「カルメン組曲」他 ▼出演  
Petit Orchestra(プチ・オー  
ケストラ) ▼入場無料 ▼そ  
の他 チケットの配布はありま  
せん。直接会場へお越しくださ  
い。



(公財) 行田市産業・文化・  
スポーツいきいき財団  
… 申し込み・問い合わせ …

産業文化会館 TEL. 556-6371 FAX. 556-6372	商工センター TEL. 553-0510 FAX. 553-2021	古代蓮会館 TEL. 559-0770 FAX. 559-0784	行田グリーンアリーナ TEL. 553-3377 FAX. 553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

「親子三代共演による」  
万作・萬齋狂言の会  
行田公演

▼日時 7月22日(日)午後2時開  
演 ▼場所 産業文化会館ホ  
ール ▼出演 野村万作・野村萬  
齋・野村裕基他※都合により配  
役が変更となる場合あり。 ▼  
入場料 全席指定【大人】5千  
円【大学生以下】2千円※未  
就学児の入場不可 ▼内容  
梟山伏 悪太郎、福の神 ▼チ  
ケット取り扱い 4月21日(土)午

体育施設アルバイトスタッフ募集

職種	勤務時間	採用人数・応募資格	時給	業務内容	申し込み・問い合わせ
グリーンアリーナ トレーニング室 スタッフ	(1)午前8時30分～午後5時 (2)午後1時～9時30分 ※上記いずれかの時間で週3日 程度のローテーション勤務	1人 ・18歳以上の方 ・土・日曜日、祝日の 勤務が可能な方	900円 ※試用期間 2カ月間 は880円	トレーニング器具な どでの使用方法説明、 指導、設備器具など の管理	4月20日(金)までに 履歴書(写真貼付) を行田グリーンア リーナまたは市民 プールへ持参して ください。 ※面接日は後日連 絡します。 市民プール☎555- 2455
市民プール スタッフ	午前8時30分～午後9時30分 ※上記の時間のうち4～8時 間、週3日程度のローテー ション勤務	1人 ・18歳以上の方 ・25メートル程度泳ぐ ことができる方 ・土・日曜日、祝日の 勤務が可能な方	880円 ※試用期間 2カ月間 も同額	・窓口受付業務 ・利用状況の監視、 案内、設備器具な どの管理業務	

古代蓮会館  
ブランドオープン記念



野村裕基 野村萬齋 野村万作

古代蓮会館入館料を2割引き  
にします。展示室のジオラマや  
蓮のシアター、展望室からのパ  
ノラマをこの機会にお楽しみく  
ださい。  
▼期日 4月22日(日) ▼その他  
売店および屋外で100円均一  
の特別販売を開催

前9時から同館他各プレイガイ  
ドで発売(電話受け付けは翌日  
午前10時から)

広告

広告



# 行田 歴史系譜 289

歴史を語るこの「いっぴん」  
博物館の収蔵庫から

25

## 一中ゆにおん、戦後教育の黎明

行田市郷土博物館所有

昭和22年（1947）4月1日、学校教育法が施行され小学校6年、中学校3年、高等学校3年、大学4年となり、六・三・三・四制の単線型学校体系が始まりました。これにより義務教育は9年間となり、全国の市町村に新制中学校が設置されることになりました。現在の行田市市域でも旧町村ごとに中学校が置

かれましたが、短期間での設置であったため、単独での校舎を用意することが難しく、多くは小学校に校舎を間借りする形でスタートしました。

管下に4つの小学校を持つ忍町では、第一中学校から第五中学校までの5つの中学校を設置し、翌年4月に3つに統合し、第一中学校から第三中学校としました。このうち第一中学校は佐間にあった染工場跡地に仮校舎を

建て本校として新1年生が入り、2年生以上は南小学校（現・中央小学校）の校舎の分校に間借りしました。

そのような中で、第一中学校の生徒が発行した学校新聞が県内学校新聞の元祖ともいわれる『一中ゆにおん』です。新聞の名前は本校と分校に分かれた生徒の意思疎通を図る意味を込めて命名されました。発行の理念として、①基本的な人権の尊重、②生徒間の相互理解、③課外活動全般の情報伝達の3点を挙げています。刊行は昭和23年（1948）9月からではぼ一週間に一回のペースで発行されました。その内容は学友会の活動や研究観察、社会問題など多岐にわたり、発足当時の中学校の学校生活を詳細に記述しています。



一中ゆにおんNo.1 (昭和23年9月20日)

当時、忍町立第一中学校は関東軍政部から県内唯一の週5日制のモデル校に指定されており、選択科目の拡大や社会体験活動の重視など、独自の教科課程の編成作業を行い、昭和23年9月から実施しました。「一中ゆにおん」は、まさに戦後の新しい教育を築きあげていく真ただ中で刊行された中学校の学校新聞として、教育史の中でも貴重な資料といえるでしょう。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

## 特定非営利活動法人 さくらメイト

高齢者と子育て家庭が安心して暮らせるご近所を復活させる「コミュニティビジネス」を指導・実践するため、桜町の商店会である二桜商和会が中心となり、平成16年度から活動を続けているのが特定非営利活動法人さくらメイトです。同会の主な活動は、市から委託されている「高齢者や障害者の方々向けの宅配弁当サービス」です。栄養バランスのとれた食事の提供と見守りを目的に、地元で採れた農産物を使った手づくりのお弁当を一人暮らしの高齢者などに届けています。これまでに配達した弁当の数は、実に132,000食以上。自宅で倒れていた高齢者の救助や孤独死の早期発見につながったこともあり、離れて暮らす家族からも頼りにされているそうです。また、集会所などで定期的に食事を開催することで、孤独感の軽減や外出することによる介護予防の促進にも努めています。

さらに今後は、市内の企業が新たに開発した見守り装置を活用し、人の動きや温度などを感知するセンサーにより、きめ細やかな安否確認を目指していくとのこと。これからも、さくらメイトの活動はたくさんの人々に安心と喜びを届け続けることでしょう。

【代表理事】関根 裕宣 【電話番号】577-3085

## つながる ひろがる みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～16



お弁当づくりの様子

### 今月の表紙

3月17日、第29回行田市なわとび大会が行田グリーンアリーナで開催されました。

今年は市内の小学生522人が参加。個人種目・団体種目合わせて9種目で記録の更新を目指しました。団体種目の長なわ10人並びとびでは、チームで呼吸を合わせ、掛け声とともに力いっぱい跳んでいました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジ版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。

